

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニク科、 自動車整備・トータルマスター科		2024年度 授業計画				
時期	1年前期	単元	学科	教科名	自動車工学 1 F	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日	2024年3月8日
総時限	12時限		2級、3級ガソリン自動車		教科 担当	田口 桂 柴田 一輝 坂本 晃一
必須時限	11時限		3級ジーゼル自動車			
			2級、3級シャシ編			
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当 自動車整備士として自動車整備の実務経験がある教員により自動車の材料・工学計算について指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入) 1. 自動車の材料を理解する。 2. 基礎的な原理・法則の「熱」や「力」を理解する。 3. 工学計算 重心、軸重計算を理解する。 4. 工学計算 エンジン回転速度から車速を計算を理解する。						
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか) 1. 自動車の材料を理解し説明できる。 2. 基礎的な原理・法則の「熱」や「力」を理解し説明できる。 3. 工学計算 重心、軸重計算問題を解くことができる。 4. 工学計算 エンジン回転速度から車速を計算できる。						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目) ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優 60点以上：良 (一級工学科70点以上) 60点未満：不可 (一級工学科70点未満) ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。(一級工学科70点以上) 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。						
5. 準備学習 ・「基礎自動車工学」の基礎の部分を復習しておくこと						

自動車整備科、一級自動車工学科、 自動車整備・カーボディマスター科、 自動車整備・マスターメカニック科、 自動車整備・トータルマスター科		2024年度 授業計画				
時期	1年後期	単元	学科	教科名	自動車工学 1S	
科目	自動車工学	教科書等 持参品	基礎自動車工学		発行日	2024年3月8日
			3級ガソリンエンジンテキスト			
総時限	24時限			3級ジーゼルエンジンテキスト		教科 担当
必須時限	23時限		練習問題		坂本 晃一	
1. 指導教員の実務経験			該当	非該当		
自動車整備士として自動車整備の実務経験がある教員により油脂類・機械要素・計算問題について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. 燃料、潤滑油及び機械要素を理解する。 2. エンジン系の計算を理解する。 3. 速度、平均速度、加速度に関する計算を理解する。 4. 重心、レッカー車の軸重計算を理解する						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
1. 燃料、潤滑油及び機械要素を理解し説明できる。 2. エンジン系の計算を理解し計算問題が解ける。 3. 速度に関する計算を理解し計算問題が解ける。 4. 重心、レッカー車の軸重計算を理解し計算問題が解ける。 5. 仕事と仕事率、エネルギーの関係を理解し計算問題が解ける。 6. 圧力と応力を理解し計算問題が解ける。 7. 自動車に作用する抵抗や駆動力を理解し計算問題が解ける。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
<ul style="list-style-type: none"> ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。 ○×、選択肢、記述により100点満点で評価する ・合格点：60点以上 80点以上：優　60点以上：良（一級工学科70点以上）　60点未満：不可（一級工学科70点未満） ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上） 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。 						
5. 準備学習						
<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎自動車工学」の油脂類に関わるパートを予習しておくこと 						

